令和2年度

標準学力調査

目標準拠評価

おかげさまで大好評「Web評価支援システム」
新機能追加でますます内容充実!!

東京書籍

「子ども一人ひとりの学力を正しくとらえて、指導改善の手立てを図りたい」という教育現場の課題にこたえて、第一線で活躍している教科教育と評価の専門家の指導の下に開発されたのが『標準学力調査』です。

「毎年全面改訂版」をラインナップに加え、Webによる速報版の結果提供、「個人経年比較資料」提供のためのデータ蓄積を開始しました。また、考えさせる問題や書かせる問題をいっそう充実させています。結果の分析資料では、学校全体表などによって学年教科間の状況が捉えやすくなっています。教科学年ごとに用意される分析・課題シートと記述・論述式問題の解答類型表は、当該学年の指導改善はもちろんのこと、ひとつ上の学年シートを見ることによって、これから教える子どもたちの指導に大きく役立つことでしょう。

子どもの学力と生活・学習意識の間に一定の相関があることが指摘されています。学力向上の推進は、家庭や地域と一体となった取り組みが欠かせません。そのような観点からも、学力調査と質問紙調査の併用をぜひお奨めします。

「Web評価支援システム」は、“指導と評価のトータル・ソリューション”の実現をめざして、平成25年度から提供を開始しました。

従来「紙」でご提供していた帳票の内容をWebで閲覧可能にしました。誤答分析のための「類型閲覧」では記述式問題における実際の解答を見ることができます。また、クラスや個人に応じて弱点克服のための「復習プリント」を配信しています。さらに、「分析レポート」によって課題となる小問の分析と対策を示します。ますます機能充実の「Web評価支援システム」にご期待ください。

学力調査を通して見えるものには確かに限界があります。しかし、見えたものは真実を反映しています。ご一緒に手を携えて、山積する課題にエビデンス・ベイスド（根拠に基づいた取り組み）で立ち向かっていきたいと願っています。これからの時代を生き抜いていく子どもたちのために。

梶田叡一

監修 **梶田叡一**
桃山学院教育大学学長・聖ウルスラ学院理事長

編集協力
加藤　明 関西福祉大学 学長
小森　茂 青山学院大学 教授
無藤　隆 白梅学園大学 教授

C O N T E N T S

標準学力調査の特長 …… 3
調査問題の設計 …… 4
評価の方法 …… 6
２種類の調査問題 …… 7
調査問題の特長 …… 8
結果資料（学校用資料） …… 12
結果資料（個人票） …… 14
Web 評価支援システム …… 16
質問紙調査 …… 18
小学校英語調査 …… 22

標準学力調査の特長

1 ２種類の調査問題を用意しています。

▶7ページ

毎年全ての問題を入れ替える「全面改訂版」と必要に応じて一部の問題のみ改訂する「部分改訂版」の2種類を発行しています。性格の異なる2種類の調査問題を用意することで、「毎年違う問題で調査をしたい」、「調査問題を手元に残したい」、あるいは、「同一問題でつまずき状況を定点調査したい」、「経年比較を厳密にしたい」など、自治体や学校毎に異なるご要望に沿った調査問題をお選びいただくことができます。

※3学期実施版の全面改訂版は、中学校３年生の発行はありません。

2 個人経年比較資料を提供します。（オプション・有料）

▶14ページ

前年度に実施した個人結果データを今年度のデータと結び付け、「あなたのがんばりグラフ」として、個人票に表示します。調査結果の推移がわかります。

3 質問紙調査との併用が効果的です。

▶18ページ

学力向上には、子どもの教科学力と生活・学習意識との相関から課題を明らかにしていくことが大切と考えます。東京書籍では３種類の質問紙調査を発行しています。

「生活・学習習慣」に加え、「自己認識」や「社会性」、「学級環境」など多面的な視点で、子どもの個性や今の心の有り様を立体的に描き出す「総合質問紙調査“アイ・チェック”」も用意しています。

4 「Web評価支援システム」で「指導と評価の一体化」を全面的にサポートします。

▶16ページ

結果資料をWEB上でも閲覧・ダウンロードができる「Web評価支援システム」を提供しています。「先生方に使いやすい画面構成」、「短時間で見たい資料が得られる操作構成」など、データに基づく「指導改善・学力向上」の手立てを、学級単位や個に応じたかたちで提供することを実現します。

指導改善をサポートする「考察機能（分析レポート）」（オプション・有料）、児童・生徒一人ひとりの課題に対応した復習プリントを自動作成する「フォローアップワークシート」（オプション・有料）も「ドリルプリント」を加わえ、内容を充実させています。※「ドリルプリント」は国語、算数・数学、英語のみの発行です。

調査問題の設計❶

記述・論述式の問題の割合は、全体の約40%です。

すべての学年・教科で「書かせて」力を測ります。

例えば小学校国語では基本的な意見文を書く力を、中学校国語では表現の客観性・正確性を、算数・数学においては考え方や理由の説明力を測ります。

「基礎・基本」と「活用」の力を1単位時間で測ることができます。

理解・思考の前提となる「基礎・基本」の力を丁寧に測りながら、全国学力・学習状況調査でも課題が多いとされている「活用力」も測ります。

最新の動向を反映した問題です。

PISA型論述式問題や環境を意識させる問題など、最新の動向を取り入れています。

考えたこと・考察したことを文章にする「表現力」を測ることができます。

調査問題の設計❷

国語、社会、算数・数学、理科、英語について、履修対象となる学年をすべて網羅したラインナップになっています

中学校入学時に実施可能な、中学校１年生用１学期版英語の調査問題（ハイ，イングリッシュ!）に加えて新学習指導要領に対応した小学校英語を新たに発行します。

読解問題や記述式問題、知識や技能を活用する問題を取り入れています

学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況を評価する問題を作成しています。思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を問う読解や記述式問題、知識・技能を活用する問題等、質の高い調査問題を提供します。

教科書執筆者・教科書部門・学力調査部門の共同作問体制による調査問題を提供します

学習指導要領に精通し、さらに学力調査問題のスタイルを熟知して、はじめて質の高い調査問題が作成できます。東京書籍では、教科書部門（編集局）と学力調査部門（教育事業本部）、さらに教科書の執筆者（編集委員・監修者）を加えた問題作成委員会を設置して問題作成にあたっています。

わかりやすい調査結果資料を提供します

どこでどうつまずいているのか、どこに課題があるのか、それが結果データから、一目でわかるよう、「誤答分析シート」「記述問題解答類型一覧」などわかりやすい結果資料をご用意しました。

国語の例

- ●判断の根拠となる情報を、正確に読み／聞き取る力
- ●段落の役割や段落間の関係を考えながら理解する力
- ●テキスト全体の構成を理解し、評価する力
- ●テキストに基づいて登場人物の心情やその変化を想像する力
- ●考えたこと、観察したことをわかりやすく、正確に伝える力　など

算数の例

- ●数量や図形に関する理解の前提となる知識
- ●正確に計算する力
- ●数量概念や図形の性質、計算のきまりなどについての意味理解
- ●文章から式を立てる力／式の意味を読み解く力
- ●考え方やその理由を筋道立てて説明する力　など

評価の方法

信頼のおける評価の手法を採用しています。

本商品は到達度評価型の調査ですので、評価は「目標値」を基準として行います。目標値は、全国の先生方への聞き取り調査を基準に、プレテストの結果を加味し、統計処理した上で設定します。

評定の基準となるカッティングポイントは、国立教育政策研究所が実施している教育課程実施状況調査の考え方に準じています。

経年比較に際しては、問題が毎年変更されること、記述・論述式問題が多く含まれること、問題数が30～40問に過ぎないことなどを考慮すると、最新のテスト理論の手法を用いても、信頼性のある数値を算出することは難しく、観点・領域・内容までを数値化して評価することは不可能だと考えます。

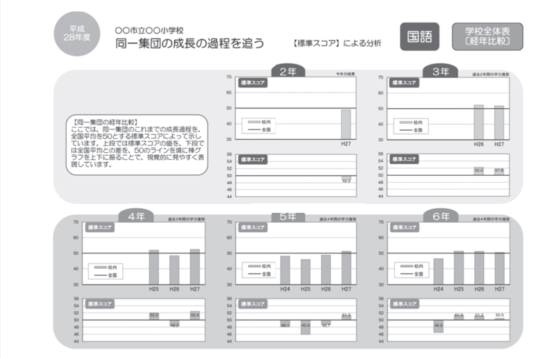
したがって、当社では集団および個人の経年比較をするために、「前年度と同一問題の正答率比較」と「集団準拠に基づいたスコア」を組み合わせることで、信頼性の高い厳密な経年比較を行います。

未学習問題について

未学習のために、解答させない問題があっても集計は可能です。

※特別な集計が必要となりますので、通常返却に加えて若干お時間をいただくことになります。

2種類の調査問題

全面改訂版		部分改訂版
100%	**問題の改訂率**	一部改訂
調査問題を毎年全面改訂します。 ※3学期版は、中学校3年の発行はありません。		調査問題を必要に応じて改訂します。
標準スコアでの比較	**経年比較**	同一問題での比較
プレテストの結果による標準スコアを基準とした、経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。		前年度と同一問題での正答率を基準とした経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。誤差のない厳密な経年比較が可能です。
		
回収しない	**問題用紙回収**	回収する
問題用紙は回収しません。(小学校1～2年を除く) つまずいた問題の振り返りに使用できます。 ※調査の公平性を保つため、児童・生徒への問題冊子の返却は、調査時期に関わらず、1学期版は6月末まで、3学期版は3月10日までお待ちください。それまでは校内での使用・保管をお願いいたします。		調査の性格上、問題用紙はすべて回収します。

目標値基準	**評価**	目標値基準

いずれの版も、目標値を基準とした到達度評価で判定します。目標値は、全国の先生方への聞き取り調査を基準に、プレテストの結果を加味し、統計処理した上で設定します。

※帳票のデザイン･仕様などは予告なく変更となる場合があります。

調査問題の特長❶

小学校 国語

6

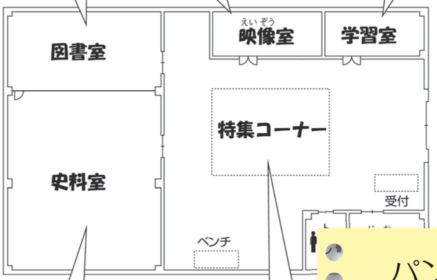
「昔から今までの、A市の様子のうつり変わり」を学習
レットをもとにグループで話し合い、見学に行く計画を立
左のパンフレットと、次のページのグループでの話し合

歴史資料館　館内のご案内

市の歴史にまつわる本があります。小・中学生向けの本もあります。

市の歴史や文化財をビデオで説明します。(下の※2をごらんください。)

「歴史学習会」を行う部屋です。(下の※1をごらんください。)



昔の文書や道具などを展示している部屋です。順路にしたがって進むと，大昔から現代までの，市の歴史がわかります。

ある時代
業など，テ
文化財や写
ます。テー
ります。

★開館時間　午前９時～午後５時（土・日曜日
★休館日　毎週月曜日（祝日は開館していま
※１　毎週日曜日，歴史学習会を開いていま
　ついては，お問い合わせください。(予約
※２　毎日，午前10時と午後２時から，ビデオ
　上映時間は15分です。

【グループでの話し合い】

中田「土曜日の午後に、お父さんが資料館に連れていってくれるって。みんな行ってみない。」
北川「五時で終わりだよ。全部回りきれるかなあ。」
東山「わたしは、ビデオが見たいなあ。近所にある文化財もしょうかいされているみたいだし。」
西島「ぼくもビデオが見たい。『歴史学習会』にもきょうみがあるんだけれど、土曜日はやっていないんだね。」
中田「いちばんの目的は、市の様子のうつり変わりを知ることだよね。それにビデオを見ること。二時ちょっと前に着くとして、まず ア に行ってみよう。そして次に イ に行って、時間をかけて見学する。さらに、ぎもんがあったら、ウ でくわしく調べる、という予定ではどうかな。」
他の全員「うん、そうしよう。」

（1）　上の話し合いの、北川さんの発言は、パンフレットの内容と合っていません。話し合いの参加者になったつもりで、北川さんに、正しい内容を教えてあげましょう。

パンフレットや新聞など、情報量の多い生の資料の“実践的な読解力”を測ります。

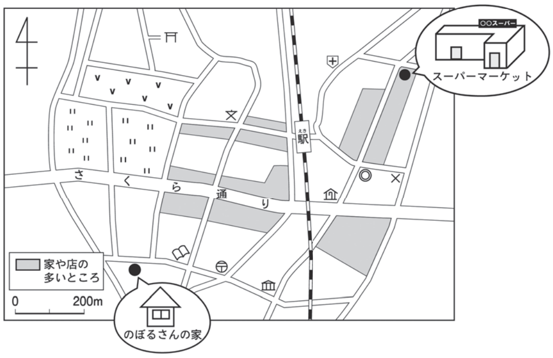
❶掲載されている情報の種類（資料館の見取り図、各展示室やコーナーの解説、開館時間等）を見きわめる力

❷さらに別の情報（話し合い）を読み取り、目的とする情報を得る力

小学校 社会

のぼるさんは，つぎの地図とお母さんのメモを持って，スーパーマーケットに買い物に行くことになりました。のぼるさんが通る道を，地図中に――を引いて書きましょう。
(答えは解答用紙に書きましょう。)

地図



メモ

●家の前の道を東に歩いて，ゆうびん局のかどを「さくら通り」のほうにまがる。
●「さくら通り」に出たら東に歩いて，線路を通りこした１つめのかどを左にまがる。
●市役所の前を通りすぎて，家や店の多い道をしばらく歩くとつく。

より実生活に近い題材で活用力を測ります。

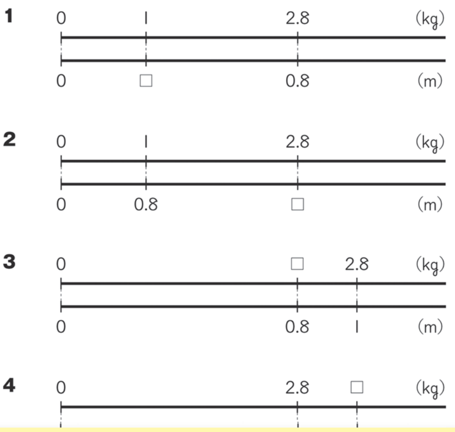
小学校 算数

問題を読んで，あとの問題に答えましょう。答えは**1**～**4**から
んで，その番号を書きましょう。

問題

0.8 mの重さが2.8 kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう１mの重さは何kgになりますか。

（1）　この問題の答えを□として図に表すと，どのようになりますか。



単純に知識や技能を問う問題だけでなく、関係を図に表すなど問題解決のためのストラテジーを重視しています。

小学校 社会

（3）　ごみをめぐる取り組みについて，けんたさんは自分の住んでいる市を調べてみました。次の資料ウは，市が行っている取り組みの１つです。この取り組みによって，どのようなことが期待できると考えられますか。資料ウ，エをもとにして書きましょう。　㉘

資料ウ

エコポイントカード

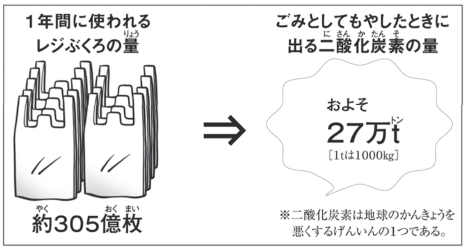
エコポイントカードのご案内

○エコポイントカードは，マイバッグを持参したとき，レジぶくろをことわったときに，利用したお店でスタンプを１つおしてもらってください。

○スタンプが２０こたまると，２００円相当の商品と交かんできます。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

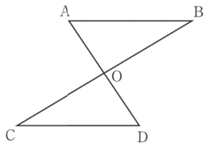
資料エ



環境を意識させる問題です。実生活に関係する活用問題で、思考力や表現力を測ります。

中学校 数学

11　右の図で，点Oが線分AD，BCのそれぞれの中点ならば，AB∥CDとなることを，次のように証明しましたが，この証明には誤りがあります。このとき，次の問いに答えなさい。



〔証明〕　△OABと△ODCにおいて，

OB＝OC　（仮定より）　……①

∠AOB＝∠DOC（対頂角は等しい）　……②

∠OBA＝∠OCD（平行線の錯角は等しい）　……③

①，②，③より，1辺とその両端の角がそれぞれ等しいから，

△OAB≡△ODC

対応する角は等しいから，∠OAB＝∠ODC

よって，AB∥CD　……★

（1）　この証明はどこを間違えていますか。最初に間違えたところと間違えた理由を**1**～**4**から1つ選んで，その番号を書きなさい。

1　OB＝OC（仮定より）は，仮定を表した式が間違っている。
2　∠AOB＝∠DOC（対頂角は等しい）は，対頂角ではない。
3　∠OBA＝∠OCD（平行線の錯角は等しい）は，結論を仮定として使っている。
4　1辺とその両端の角がそれぞれ等しいは，示した3つの式と合同条件が合っていない。

（2）　上の証明で，∠OAB＝∠ODCから，AB∥CD（★の式）がいえるのはなぜですか。その理由を説明しなさい。

論理的な数学の表現力を測る問題はもちろん、図形の証明の誤りを読み取るというような、高度な理解力を必要とする問題も出題しています。

中学校 英語

3　放送による問題です。あなたは今，アメリカの中学校に短期留学しています。これから読まれる写真部紹介の校内放送を聞いて，その内容に合うように，次の空欄の（1）にはあてはまる日本語を，（2）には数字を書き，メモを完成させなさい。英文は２回くり返します。　⑨⑩

［メモ］

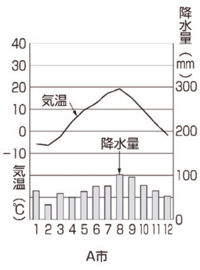
〈写真部(photo club)について〉

・活動日：(1)(　　　　　　　　　　)
・写真撮影によく行く場所：動物園
・部員数：(2)(　　　)人

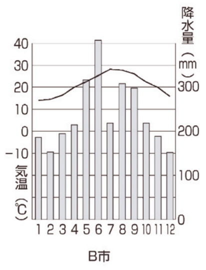
実生活に近い場面設定でのリスニング問題です。実践的な聞き取る力を問います。
全ての学年でリスニング問題を出題します。
※国語でも小中学校全ての学年で聞き取り問題を出題します。

中学校 国語

7 次のグラフは、A市とB市の月別平均気温および降水量を表したものです。A市とB市のちがいについて、グラフから読み取ったことを説明する文章を、下の点に注意して書きなさい。 ㉘㉙㉚㉛㉜



A市



B市

〈注意する点〉

① 三段落構成とすること。
② 第一・第二段落に「グラフから読み取れるA市とB市のちがい」をそれぞれ一つずつ書くこと。
③ 第三段落には「自分が考えたこと」を書くこと。
④ 九行以上、一〇行以内（一六一字以上、二〇〇字以内）で書くこと。
⑤ 題名や氏名は書かず、原稿用紙の使い方や、誤字・脱字に注意して書くこと。

参考 原稿用紙への数字の書き方

一〇三ミリ
二五度
十・月

12　答えは解答用紙に書きなさい。

7

国語では小中学校すべての学年で「条件作文」を出題しています。「文字数」「段落分け」「書く内容」を指定して書かせます。この力は社会に出て必ず必要とされる能力です。学年が上がるごとに文字数を徐々に増やしながら出題し、“書く力”を確実に定着させていきます。

左の問題では、2つの市の雨温図を見比べ、その違いについて考察文を書かせ、表現力の「正確性」と「客観性」を測ります。

中学校 英語

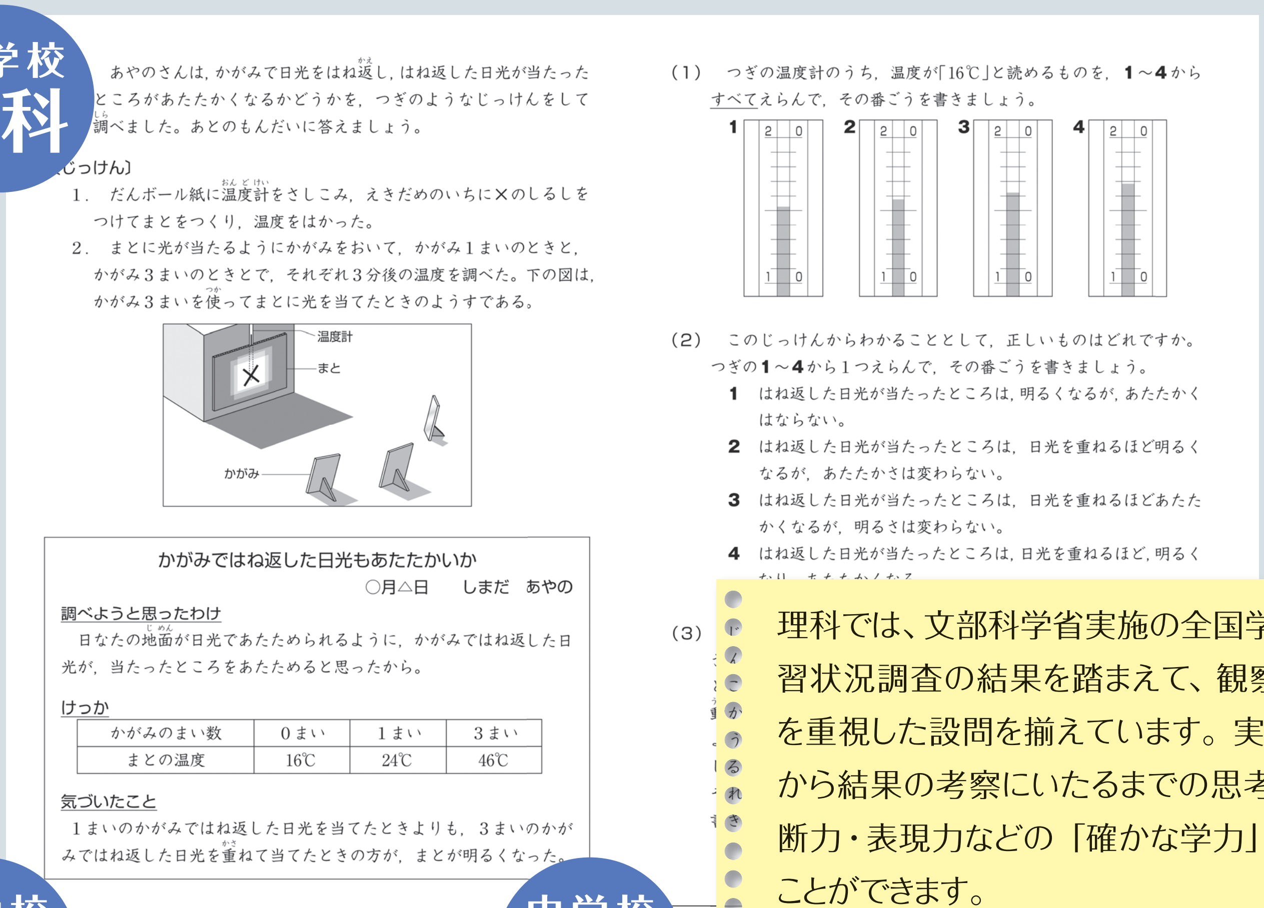
9 あなたのしたいことについて紹介する文を，次の□の中の指示に従って，英語で書きなさい。 ㉝㉞㉟

- ・まとまりのある３文以上の英語で書くこと。
- ・最初の文は「**I want**」に続けて書くこと。
- ・なぜそれがしたいのか，理由がわかるように書くこと。

中学校英語では、すべての学年で自己表現する力を問います。

調査問題の特長③

最新の動向を反映



小学校 理科

あやのさんは，かがみで日光をはね返し，はね返した日光が当たったところがあたたかくなるかどうかを，つぎのようなじっけんをして調べました。あとのもんだいに答えましょう。

〔じっけん〕

1．だんボール紙に温度計をさしこみ，えきだめのいちに×のしるしをつけてまとをつくり，温度をはかった。

2．まとに光が当たるようにかがみをおいて，かがみ1まいのときと，かがみ3まいのときとで，それぞれ3分後の温度を調べた。下の図は，かがみ3まいを使ってまとに光を当てたときのようすである。

かがみではね返した日光もあたたかいか

○月△日　しまだ　あやの

調べようと思ったわけ

日なたの地面が日光であたためられるように，かがみではね返した日光が，当たったところをあたためると思ったから。

けっか

かがみのまい数	0まい	1まい	3まい
まとの温度	16℃	24℃	46℃

気づいたこと

1まいのかがみではね返した日光を当てたときよりも，3まいのかがみではね返した日光を重ねて当てたときの方が，まとが明るくなった。

（1）つぎの温度計のうち，温度が「16℃」と読めるものを，1～4からすべてえらんで，その番ごうを書きましょう。

（2）このじっけんからわかることとして，正しいものはどれですか。つぎの1～4から1つえらんで，その番ごうを書きましょう。

1　はね返した日光が当たったところは，明るくなるが，あたたかくはならない。

2　はね返した日光が当たったところは，日光を重ねるほど明るくなるが，あたたかさは変わらない。

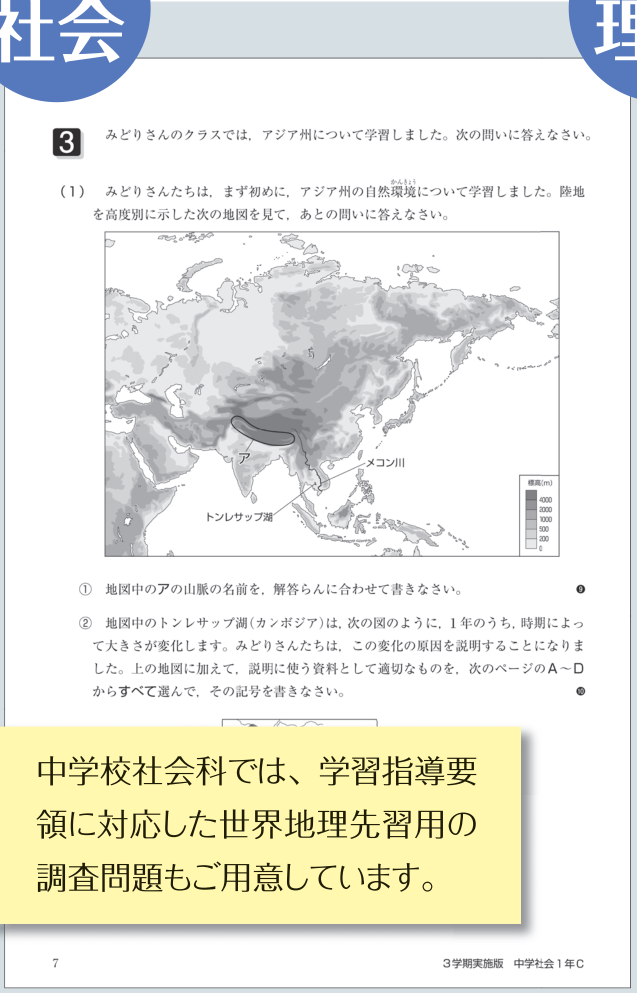
3　はね返した日光が当たったところは，日光を重ねるほどあたたかくなるが，明るさは変わらない。

4　はね返した日光が当たったところは，日光を重ねるほど，明るく……

（3）

理科では、文部科学省実施の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、観察・実験を重視した設問を揃えています。実験技能から結果の考察にいたるまでの思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」を測ることができます。

また、「活用」に関する問題として、実生活関連等の問題を随所に扱っています。
さらに、中学校理科では、指導順序の弾力化を考慮し、各学年とも全領域の問題を掲載し選択できるようにしています。



中学校 社会

3　みどりさんのクラスでは，アジア州について学習しました。次の問いに答えなさい。

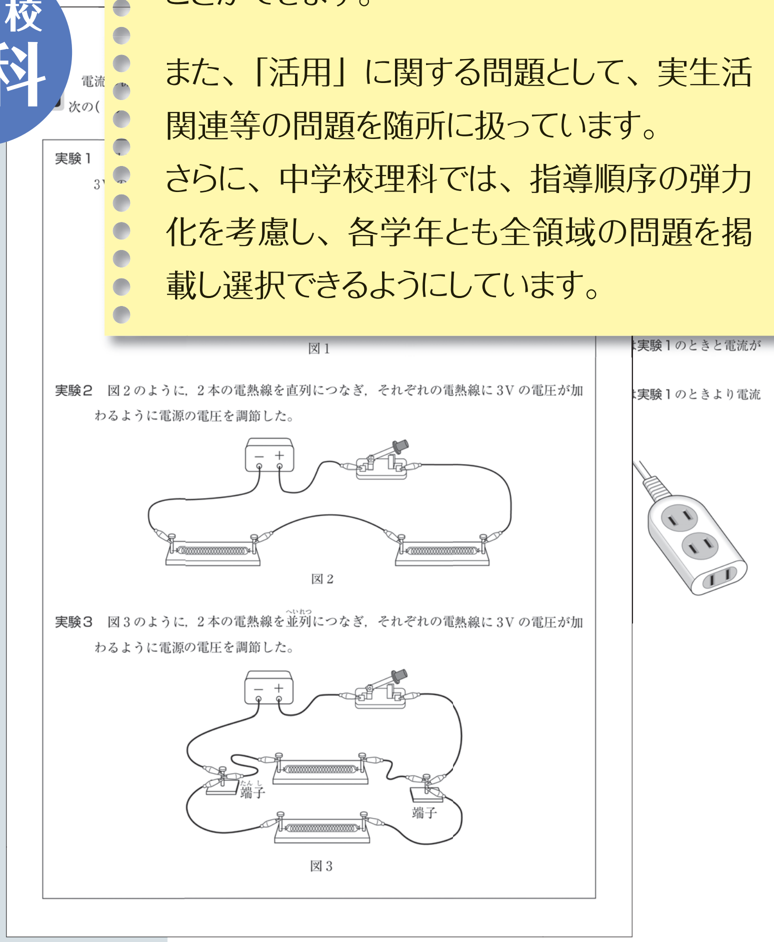
（1）みどりさんたちは，まず初めに，アジア州の自然環境について学習しました。陸地を高度別に示した次の地図を見て，あとの問いに答えなさい。

①　地図中のアの山脈の名前を，解答らんに合わせて書きなさい。

②　地図中のトンレサップ湖（カンボジア）は，次の図のように，1年のうち，時期によって大きさが変化します。みどりさんたちは，この変化の原因を説明することになりました。上の地図に加えて，説明に使う資料として適切なものを，次のページのA～Dからすべて選んで，その記号を書きなさい。

7　　3学期実施版　中学社会1年C

中学校社会科では、学習指導要領に対応した世界地理先習用の調査問題もご用意しています。



中学校 理科

実験1

図1

実験2　図2のように，2本の電熱線を直列につなぎ，それぞれの電熱線に3Vの電圧が加わるように電源の電圧を調節した。

図2

実験3　図3のように，2本の電熱線を並列につなぎ，それぞれの電熱線に3Vの電圧が加わるように電源の電圧を調節した。

図3

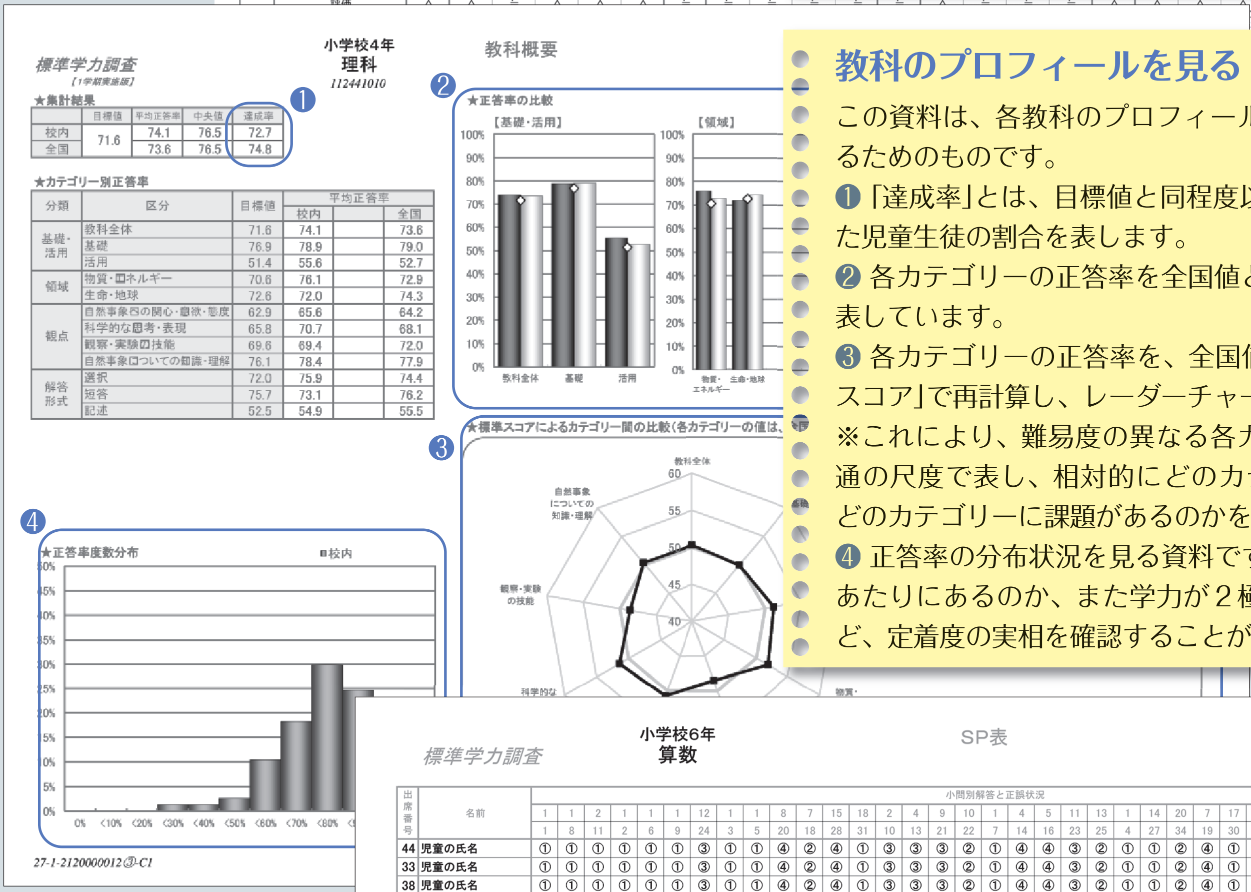
結果資料❶

学校用資料

学校全体の状況を多角的に見る資料、学年別・クラス別に受検教科を「領域別」、「観点別」、「基礎・活用別」などで一覧できる資料、教科ごとに学年・クラス・個人の解答状況や解答傾向を見る資料等「指導改善/学力向上」の手立てに有効な結果資料を提供します。

全学年/全教科を「観点」別に見る

全学年／教科の結果を、文部科学省が設定した教科の「観点」ごとに見られます。これにより、日頃の指導の成果が表れている観点や、課題のある観点が明確になります。



教科のプロフィールを見る

この資料は、各教科のプロフィールを視覚的に把握するためのものです。

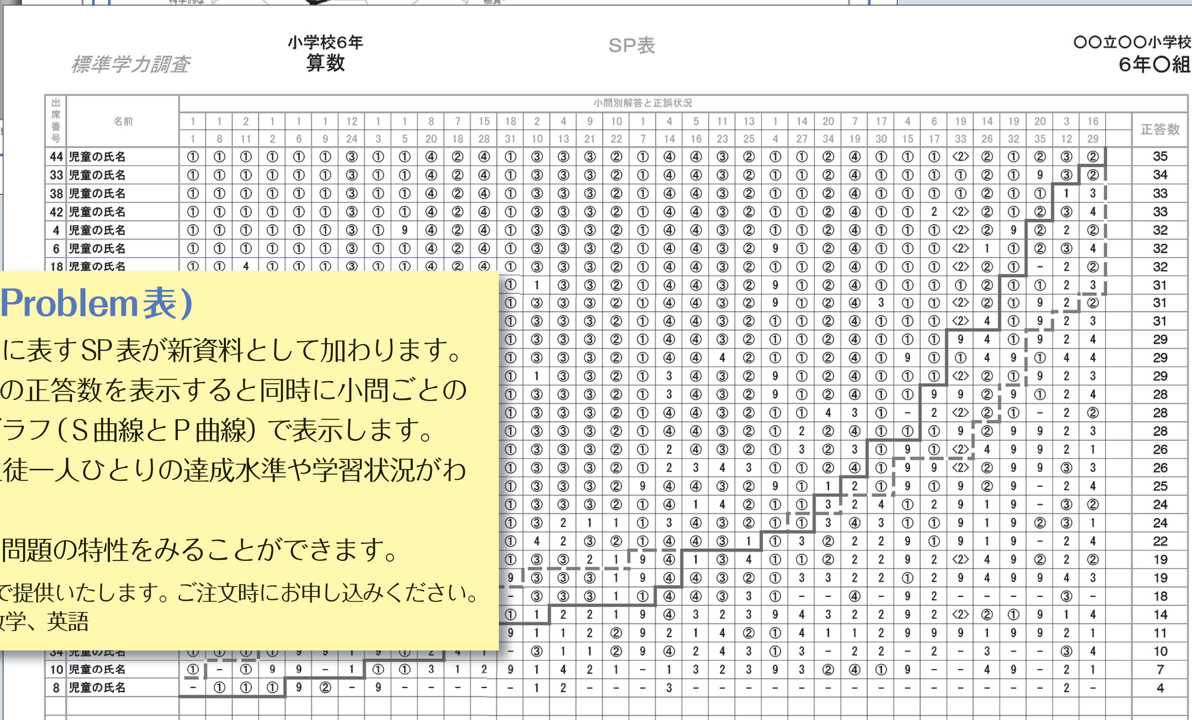
❶「達成率」とは、目標値と同程度以上の正答率であった児童生徒の割合を表します。

❷ 各カテゴリーの正答率を全国値と並べて棒グラフで表しています。

❸ 各カテゴリーの正答率を、全国値を50とする「標準スコア」で再計算し、レーダーチャートで示しています。

※これにより、難易度の異なる各カテゴリーの値を共通の尺度で表し、相対的にどのカテゴリーが良好で、どのカテゴリーに課題があるのかを把握できます。

❹ 正答率の分布状況を見る資料です。最頻出値がどのあたりにあるのか、また学力が2極化していないかなど、定着度の実相を確認することができます。



SP表（Student-Problem表）

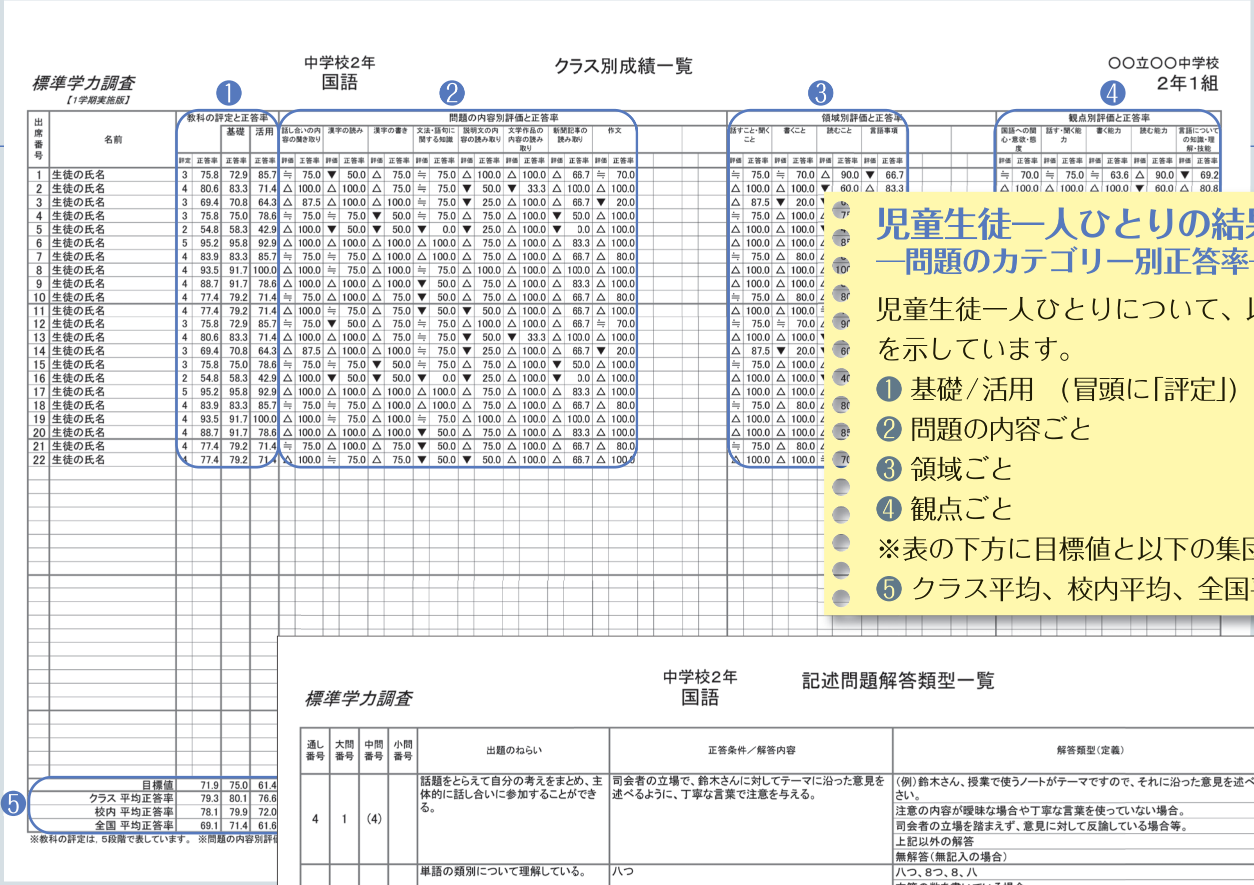
調査の正答数を図表的に表すSP表が新資料として加わります。

児童・生徒一人ひとりの正答数を表示すると同時に小問ごとのクラスの正答人数をグラフ（S曲線とP曲線）で表示します。

S曲線からは、児童生徒一人ひとりの達成水準や学習状況がわかります。

P曲線からは、個々の問題の特性をみることができます。

※ご要望に対して、データで提供いたします。ご注文時にお申し込みください。
※対応教科：国語、算数・数学、英語



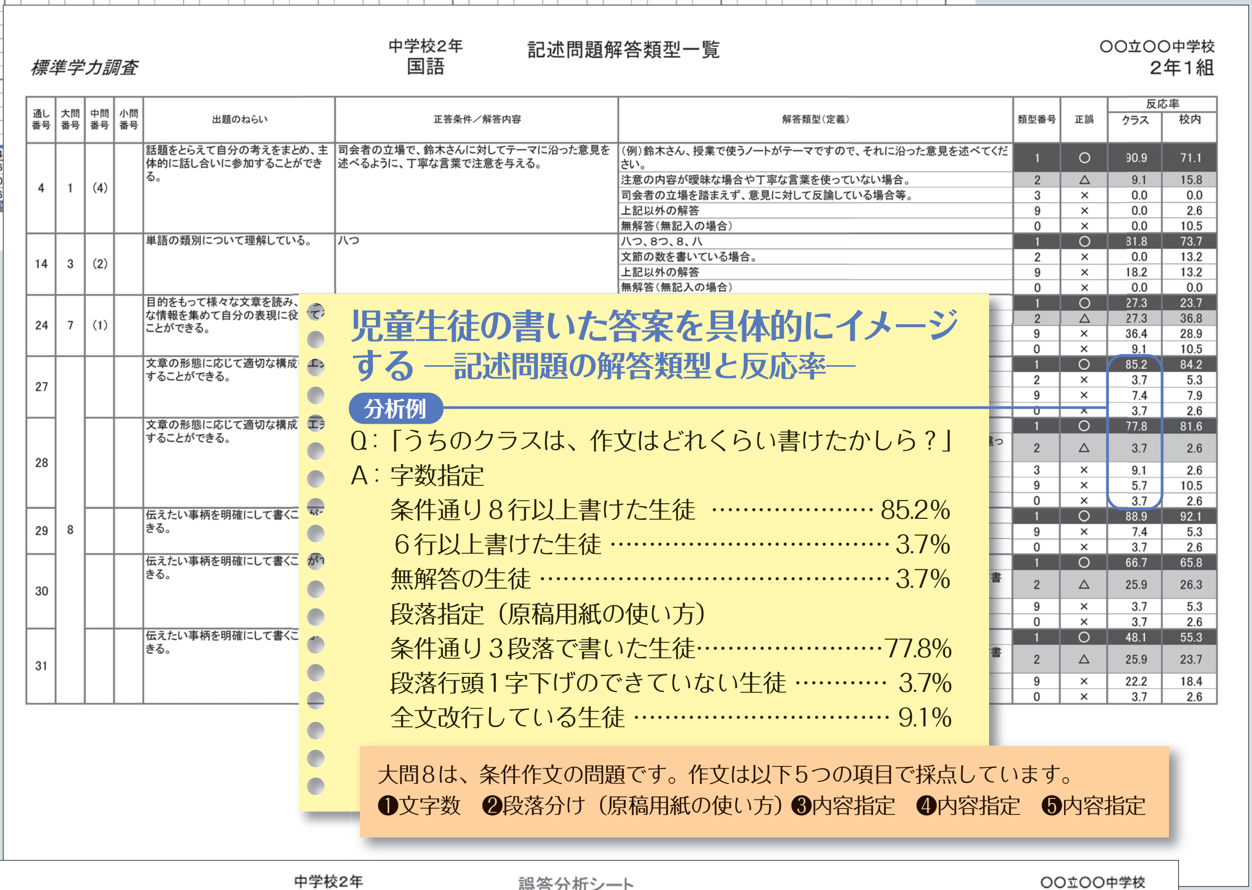
児童生徒一人ひとりの結果を詳しく見る ―問題のカテゴリー別正答率―

児童生徒一人ひとりについて、以下の正答率と評価を示しています。

❶ 基礎／活用　(冒頭に「評定」)
❷ 問題の内容ごと
❸ 領域ごと
❹ 観点ごと

※表の下方に目標値と以下の集団値を示しています。

❺ クラス平均、校内平均、全国平均



児童生徒の書いた答案を具体的にイメージする ―記述問題の解答類型と反応率―

分析例

Q：「うちのクラスは、作文はどれくらい書けたかしら？」

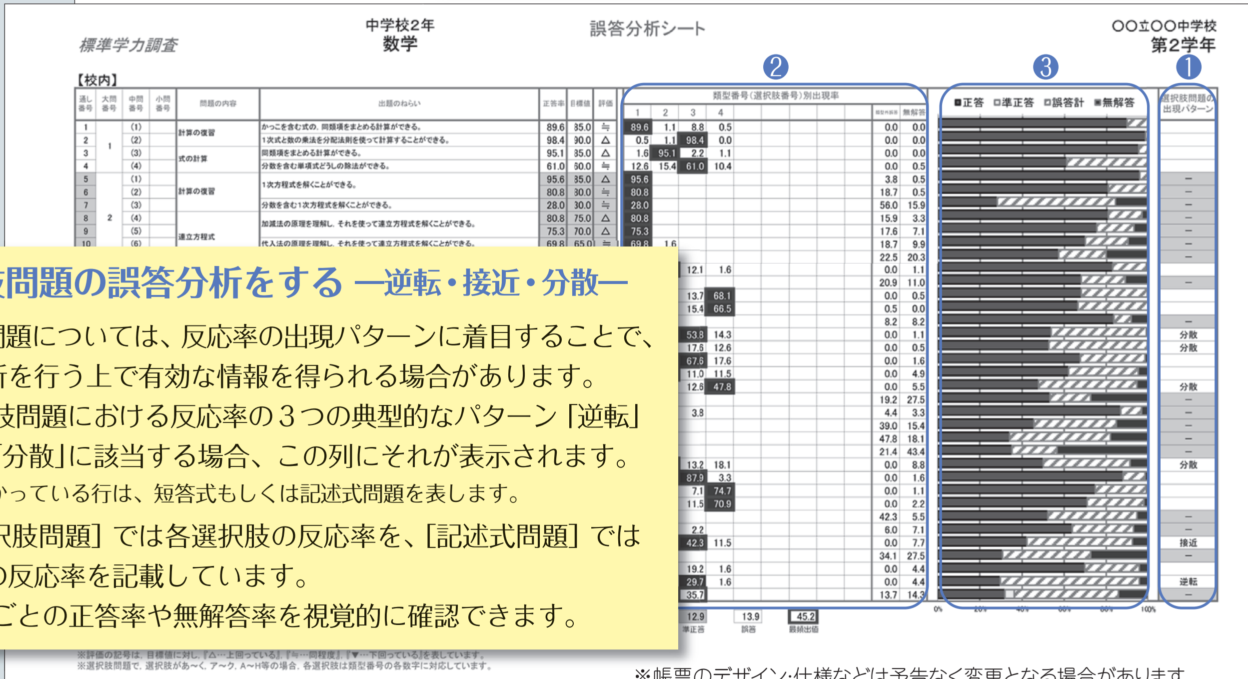
A：字数指定

条件通り８行以上書けた生徒 ……………………… 85.2%
６行以上書けた生徒 …………………………………… 3.7%
無解答の生徒 …………………………………………… 3.7%

段落指定（原稿用紙の使い方）

条件通り３段落で書いた生徒 ……………………… 77.8%
段落行頭１字下げのできていない生徒 ………… 3.7%
全文改行している生徒 ……………………………… 9.1%

大問８は、条件作文の問題です。作文は以下５つの項目で採点しています。
❶文字数　❷段落分け（原稿用紙の使い方）❸内容指定　❹内容指定　❺内容指定



選択肢問題の誤答分析をする ―逆転・接近・分散―

選択肢問題については、反応率の出現パターンに着目することで、誤答分析を行う上で有効な情報を得られる場合があります。

❶ 選択肢問題における反応率の３つの典型的なパターン「逆転」「接近」「分散」に該当する場合、この列にそれが表示されます。

※網が掛かっている行は、短答式もしくは記述式問題を表します。

❷ ［選択肢問題］では各選択肢の反応率を、［記述式問題］では各類型の反応率を記載しています。

❸ 問題ごとの正答率や無解答率を視覚的に確認できます。

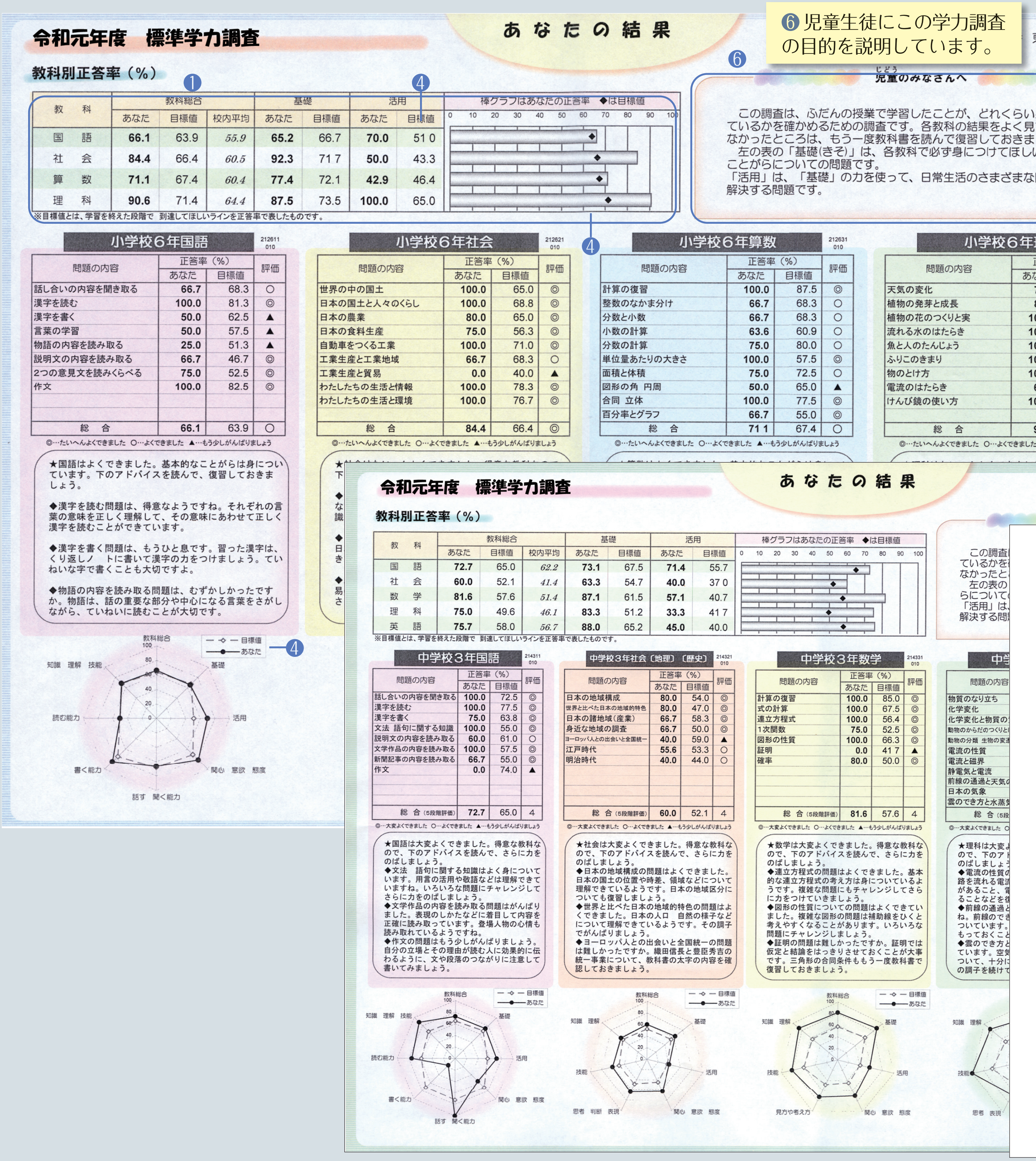
※帳票のデザイン･仕様などは予告なく変更となる場合があります。

結果資料❷

個人票

4色のプレプリント紙を使い、親しみ易い紙面です。

❶ 全受検教科の結果状況を一覧できる表とグラフを冒頭に示しています。
❷ 復習を手助けできるよう、具体的な「学習のアドバイス」を載せています。
❸ 基礎／活用、観点の値を示すだけではなく、グラフやレーダーチャートで視覚的に表現しています。
❹ 各種正答率を示す表やグラフには、目標値を併記し、到達度比較できるよう工夫しています。



教科	教科総合 あなた	目標値	校内平均	基礎 あなた	目標値	活用 あなた	目標値
国語	66.1	63.9	55.9	65.2	66.7	70.0	51.0
社会	84.4	66.4	60.5	92.3	71.7	50.0	43.3
算数	71.1	67.4	60.4	77.4	72.1	42.9	46.4
理科	90.6	71.4	64.4	87.5	73.5	100.0	65.0

問題の内容（小学校6年国語）	あなた	目標値	評価
話し合いの内容を聞き取る	66.7	68.3	○
漢字を読む	100.0	81.3	◎
漢字を書く	50.0	62.5	▲
言葉の学習	50.0	57.5	▲
物語の内容を読み取る	25.0	51.3	▲
説明文の内容を読み取る	66.7	46.7	◎
2つの意見文を読みくらべる	75.0	52.5	◎
作文	100.0	82.5	◎
総合	66.1	63.9	○

問題の内容（小学校6年社会）	あなた	目標値	評価
世界の中の国土	100.0	65.0	◎
日本の国土と人々のくらし	100.0	68.8	◎
日本の農業	80.0	65.0	◎
日本の食料生産	75.0	56.3	◎
自動車をつくる工業	100.0	71.0	◎
工業生産と工業地域	66.7	68.3	○
工業生産と貿易	0.0	40.0	▲
わたしたちの生活と情報	100.0	78.3	◎
わたしたちの生活と環境	100.0	76.7	◎
総合	84.4	66.4	◎

問題の内容（小学校6年算数）	あなた	目標値	評価
計算の復習	100.0	87.5	◎
整数のなかま分け	66.7	68.3	○
分数と小数	66.7	68.3	○
小数の計算	63.6	60.9	○
分数の計算	75.0	80.0	○
単位量あたりの大きさ	100.0	57.5	◎
面積と体積	75.0	72.5	○
図形の角　円周	50.0	65.0	▲
合同　立体	100.0	77.5	◎
百分率とグラフ	66.7	55.0	◎
総合	71.1	67.4	○

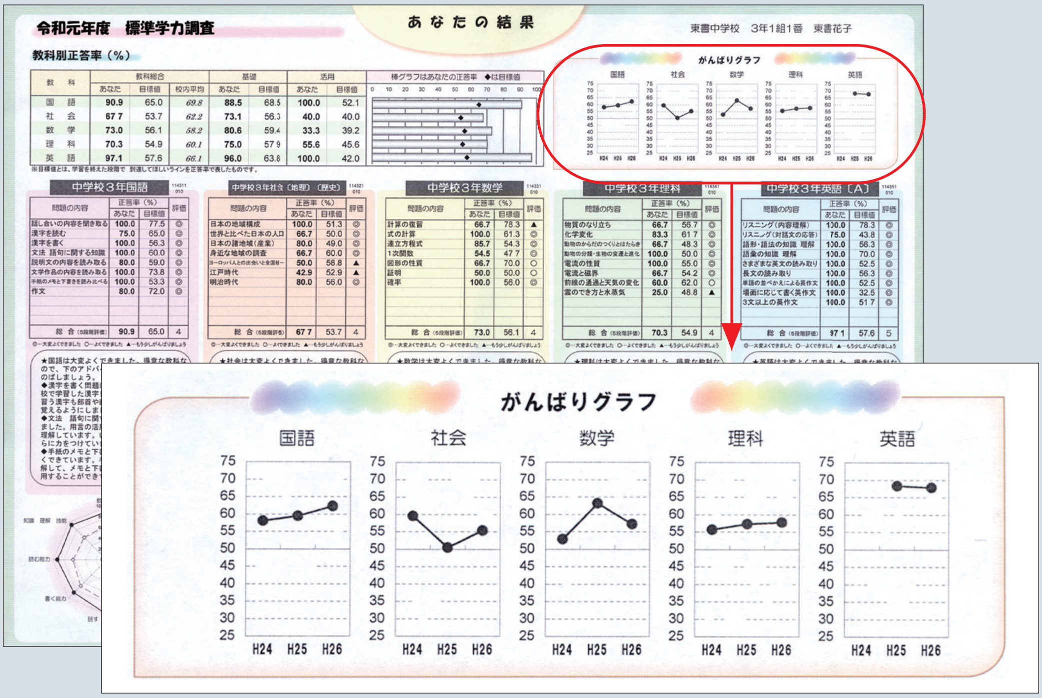
教科	教科総合 あなた	目標値	校内平均	基礎 あなた	目標値	活用 あなた	目標値
国語	72.7	65.0	62.2	73.1	67.5	71.4	55.7
社会	60.0	52.1	41.4	63.3	54.7	40.0	37.0
数学	81.6	57.6	51.4	87.1	61.5	57.1	40.7
理科	75.0	49.6	46.1	83.3	51.2	33.3	41.7
英語	75.7	58.0	56.7	88.0	65.2	45.0	40.0

個人経年比較

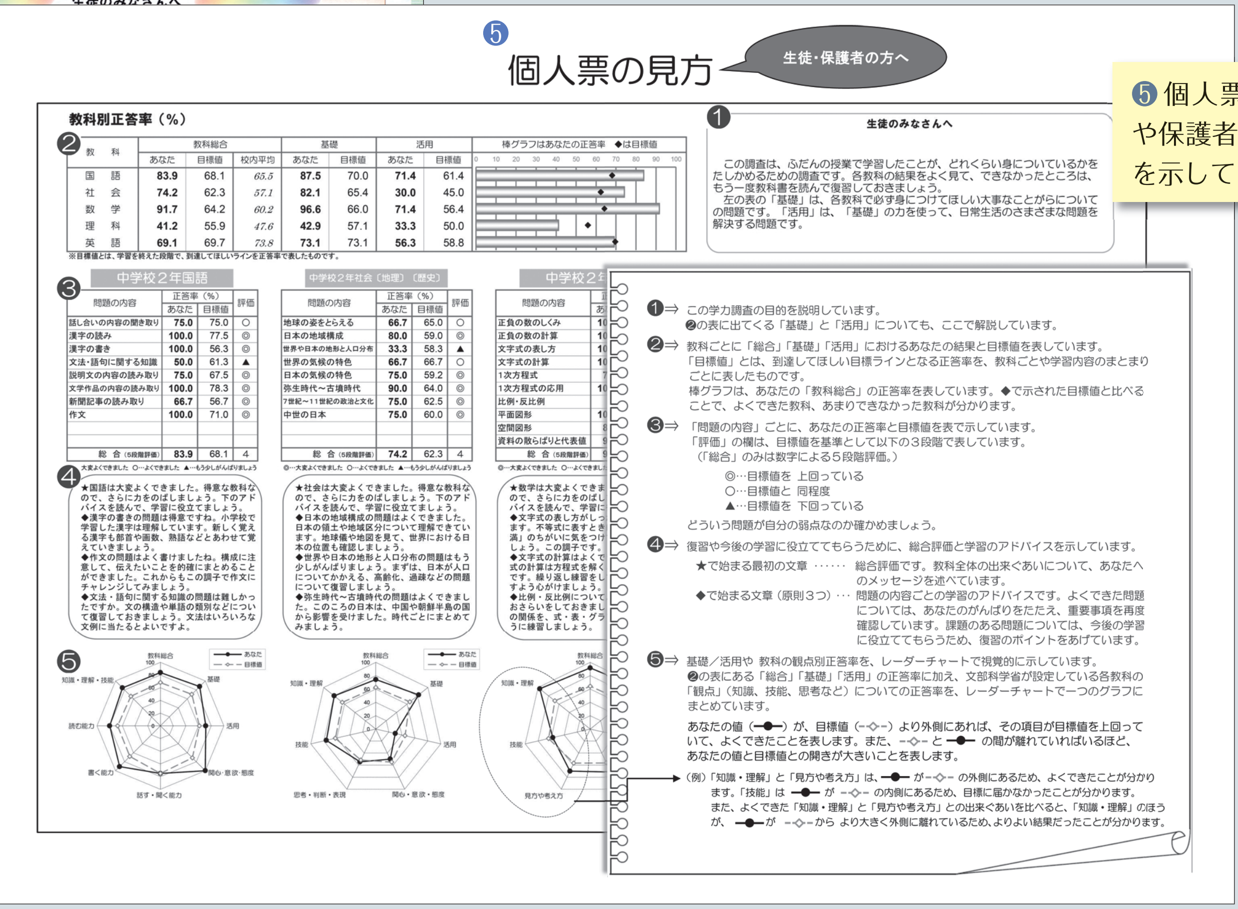
※個人経年比較資料をご要望される場合通常の結果資料作成に加えて数日日数をいただきます。

オプションで個人票に、過年度の調査結果を表示する「あなたのがんばりグラフ」を用意しました。調査結果の推移がわかります。下の例は、標準スコアでの比較ですが、自己内評価での比較で示すことも可能です。

※本サービスの提供には、別途オプション料金「1人あたり48円(税別)」をいただきます。



⑤ 個人票裏面には、児童生徒や保護者用に「個人票の見方」を示しています。



※帳票のデザイン･仕様などは予告なく変更となる場合があります。

機能充実

Web評価支援システム

基本使用料無料。一部機能有料。

「指導と評価の一体化」を強力にバックアップ

東京書籍の
Web評価支援システムの
2大特長

❶ 分析／評価機能

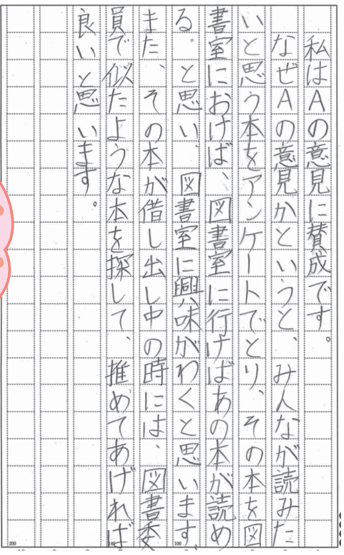
❷ ソリューション機能

『Web評価支援システム』の
分析／評価機能 と
ソリューション機能 の
一例を紹介します。

誤答分析に活かす①

【実際の答案を見る】

うちのクラスの生徒が
どんな作文を書いたのか
読んでみたいわ



私はAの意見に賛成です。
なぜAの意見かというと、みんなが読みたいと思う本をアンケートでとり、その本を図書室におけば、図書室に行けばあの本が読める。と思い、図書室に興味がわくと思います。
また、その本が借し出し中の時には、図書委員で似たような本を探して、推めてあげれば良いと思います。

私はAの意見に賛成します。
なぜ賛成なのかというと、アンケートをとることでみんながどのような本が好きなのかわかるし、もし自分の読みたい本が図書室にあれば借りに行きたいからです。そのついでに他にも読みたい本があれば借りることができるので、いろんな人にたくさんの本を読んでもらうことができ、知ってもらえると思います。だから、Aの意見に賛成です。

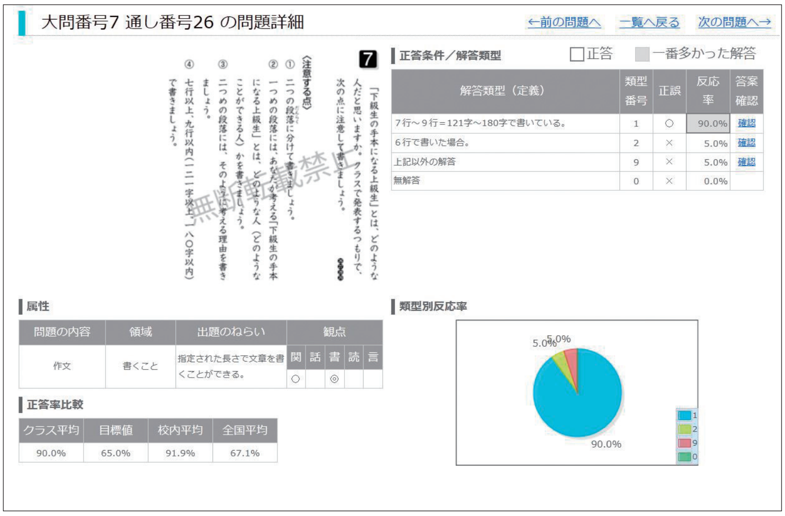
私はBの意見に賛成です。
Aの意見も良いけれど人気のある本を増やしたら逆に、他の本を読んでもらえなくなってしまうと思います。だから、人気の本を中心に放送していけば、よりたくさんの人により多くの本を知ってもらえると思うから、
私はBの意見に賛成です。

主な記述式問題や作文は、各解答パターンに当てはまる実際の答案を確認できます。
「間違えやすいポイント」をより具体的に把握し，今後の指導に活かすことができます。

誤答分析に活かす②

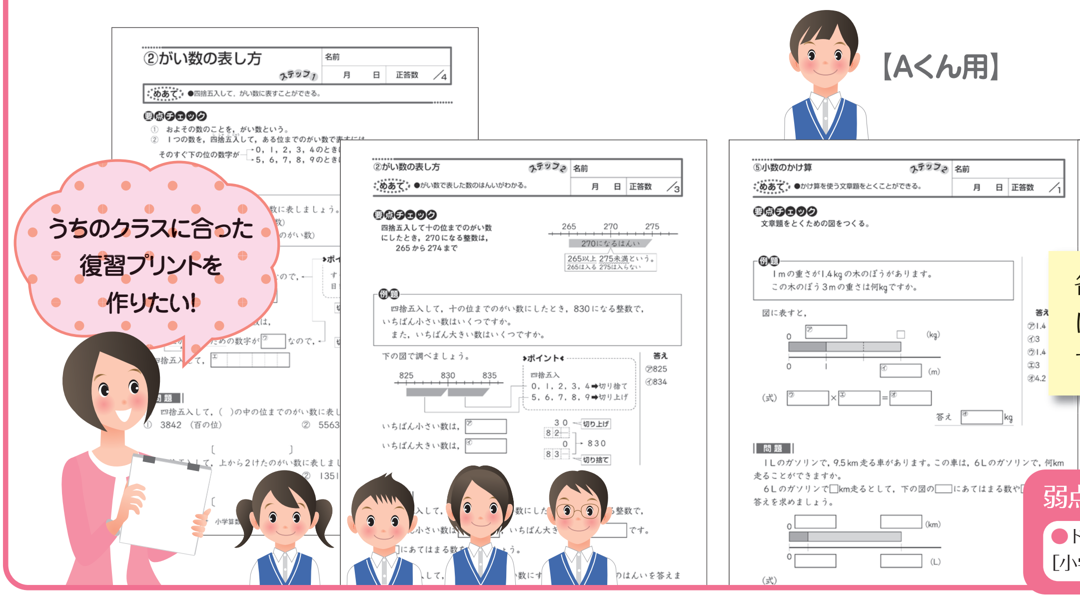
【記述式問題の解答類型ごとの反応率を見る】

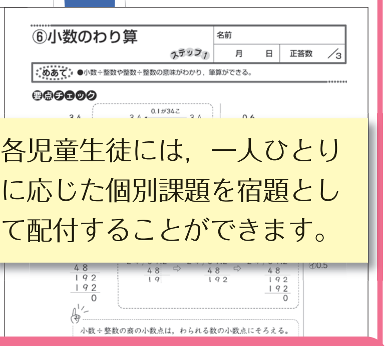
類型閲覧機能で、記述問題の解答類型ごとの反応率を見て、誤答の原因や無解答率などを把握することができます。



〈クラス別〉・〈個人別〉 復習プリントの自動生成

【Aくん用】　【Bさん用】





各児童生徒には，一人ひとりに応じた個別課題を宿題として配付することができます。

弱点克服ドリルもご用意しています。

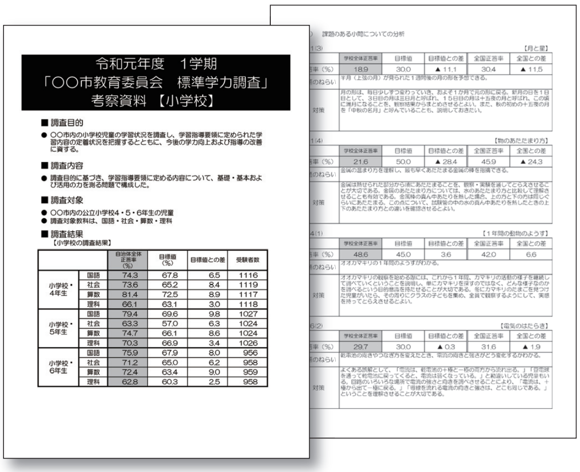
●ドリル対応教科
[小学校] 国語, 算数 [中学校] 国語, 数学, 英語

「考察機能」分析レポートで課題抽出をサポート

オプション・有料
1学年1教科 5,000円
(税別)

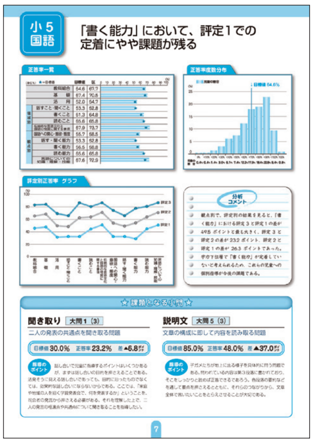
指導計画やレポートなどにご利用いただける2種類の資料をご用意しました。

①



エクセル版

②



PDF版

質問紙調査❶ 生き生きとした学校生活を送るための総合質問

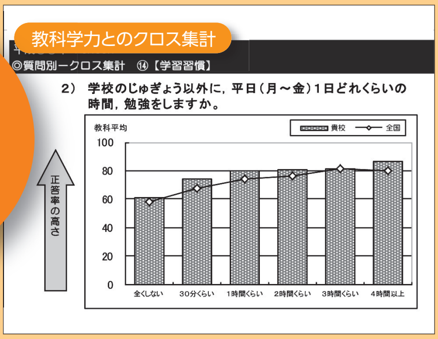
自 分 発 見

アイ・チェック

i-Check

近年，「確かな学力」を身に付けさせるために，基本的な生活習慣・学習習慣の土台となる，児童生徒の「自己肯定感」を高めて学習意欲の向上を図ると共に，他者とのかかわりを豊かにして「社会性」を養うことが喫緊の課題です。

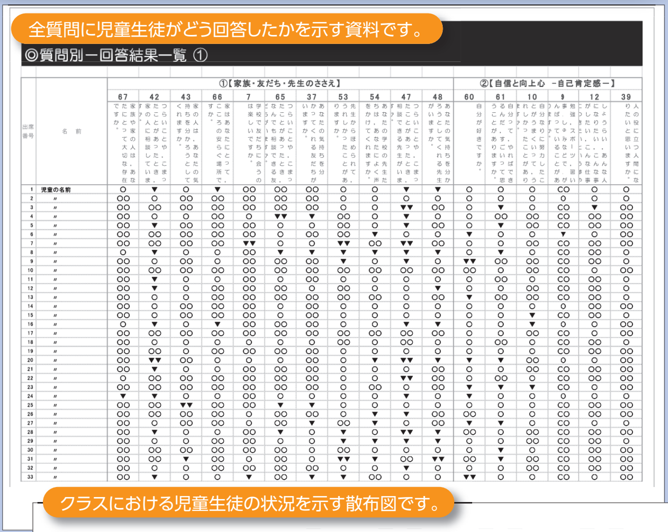
学力との相関　東京書籍の学力調査と併用していただくと，教科学力とのクロス集計が可能となります。

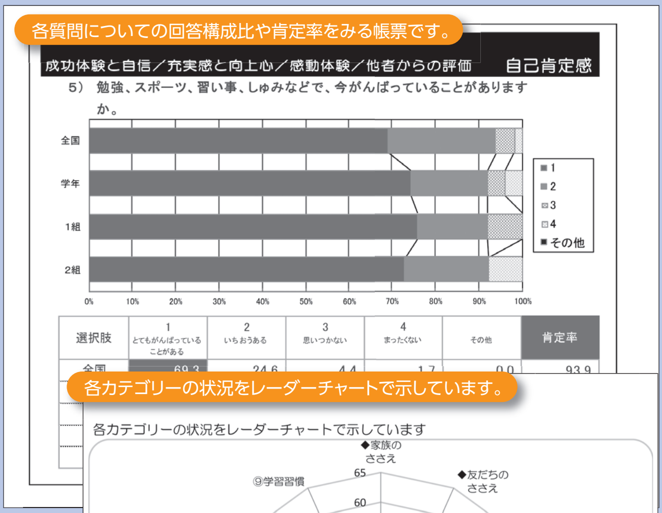


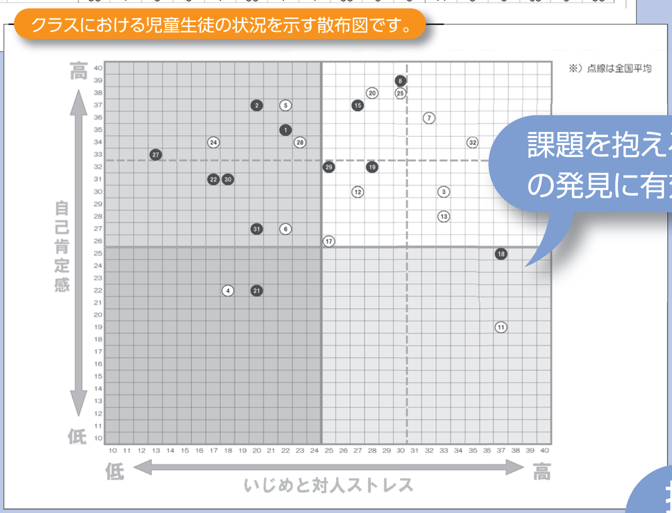
質問群のカテゴリーについて

【第1】category	【第2】category	【第3】category
Ⅰ 自己認識	1. 愛されていますか	① 家族のささえ
		② 友だちのささえ
		③ 先生のささえ
	2. 自己肯定感	④ 成功体験と自信
		⑤ 充実感と向上心
		⑥ 感動体験
		⑦ 他者からの評価
Ⅱ 社会性	1. ソーシャルスキル	⑧ 規範意識
		⑨ 思いを伝える力
		⑩ 問題解決力
	2. 社会参画	⑪ 社会参画
Ⅲ 学級環境	1. 学校風土	⑫ 学級の規範意識
		⑬ 学級の絆
	2. リスク管理	⑭ いじめのサイン
		⑮ 対人ストレス
Ⅳ 生活・学習習慣	1. 生活習慣	⑯ 生活習慣
	2. 学習習慣・意欲	⑰ 学習意欲

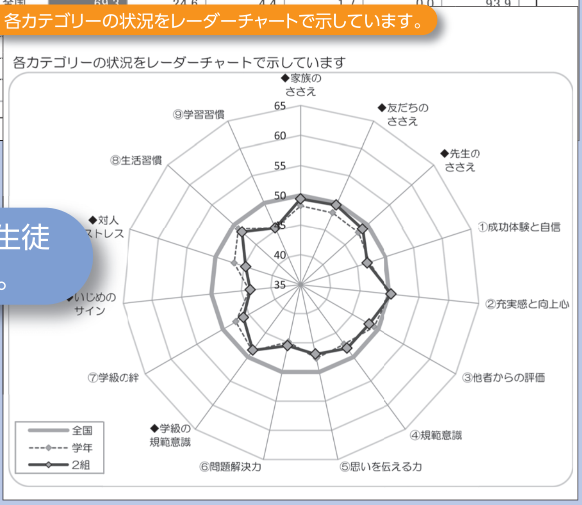
学校用資料　今までにない多面的な観点から，先生方が生徒指導・学級経営に必要としているデータを全て提供いたします。







課題を抱える児童生徒の発見に有効です。



●同一年度内に複数回実施される学校様へ

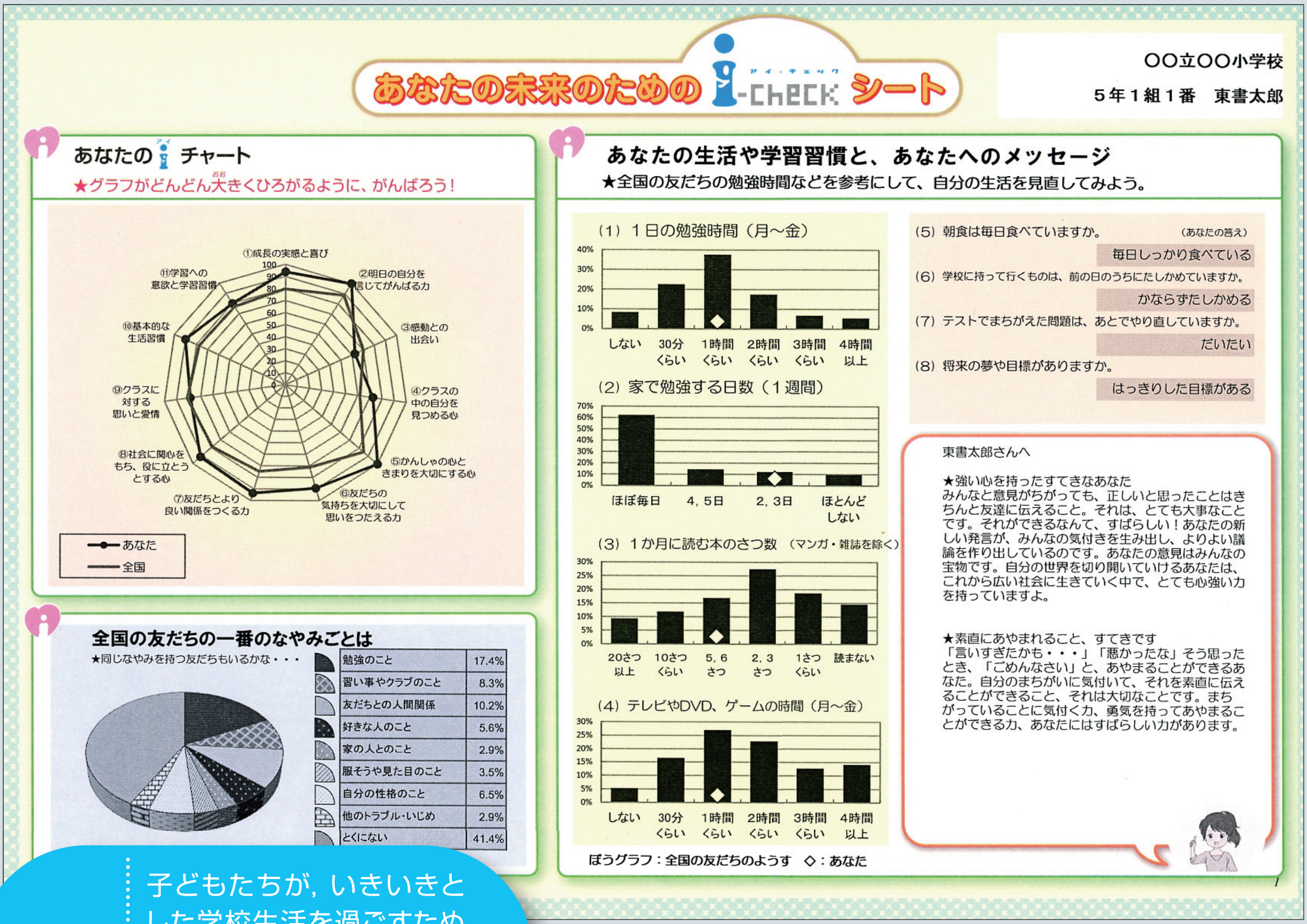
推移チャート　複数回実施される学校様へは，結果の推移を2回目以降の結果資料に表示いたします。

紙調査…学力調査との併用が効果的!

東京書籍では，こうした教育現場の要望に応えるために，学力向上を目的とする学級経営や生徒指導の指針づくりに役立つ包括的な児童生徒質問紙調査「i-check（アイ・チェック）」を発行しています。

i-checkの工夫

1. 「いじめのサイン」では，子どもの心に負担をかけずに学級内の事実を伝えてもらうよう，質問表現を工夫しました。
2. 「対人ストレス」では，数値に現れづらい普通の子が抱えるストレスに照準を合わせ，非行・不登校の潜在的因子を予見できるよう工夫をしました。
3. 「ソーシャルスキル」では，質問項目をそのままクラスの行動目標に置き換え，みんなで取り組めるよう，内容と表現を工夫しました。



個人票

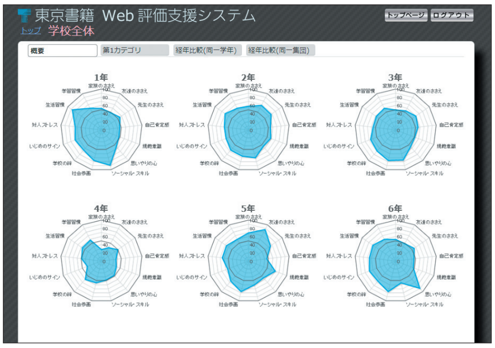
子どもたちが，いきいきとした学校生活を過ごすために，自分自身のことだけでなく，友達やクラスとの関わりも集計して示しています。

Web評価支援システム対応

学校経営や生活指導の指針づくりにますますご活用いただけます。

学級経営の指針づくりに役立つ、生活習慣と学習習慣、社会性の包括的な分析をご提供します。

- 子どもが発するSOSへの気づき
- 隠れた個性の発見
- 生活・学習習慣と学力の相関分析



※有料オプション分析レポート（考察資料）作成機能付き

【参考資料】道徳科の内容項目別　肯定率一覧

[道徳]新学習指導要領	A主として自分自身に関すること					
	善悪の判断、自律、自由と責任		正直、誠実			
質問番号	42	51	16	28	42	51
質問項目	クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。	仲間はずれになるのがこわくて、本当…すまないのに、友だちの意見に合わせ…いっしょに行動したりすることがありま…	自分がうれしかったとき、くやしか…それを言葉やからだで表す方ですか	自分が悪かったと思ったときは…あやまっていますか。	クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。	仲間はずれになるのがこわくて、本当…すまないのに、友だちの意見に合わせ…いっしょに行動したりすることがありま…
クラス 肯定率	69.1					
クラス－全国 肯定率	9.2					
学年 肯定率	67.3					
学年－全国 肯定率	7.4					
全国 肯定率	59.9					

オプション

[道徳科]
新学習指導要領と
i-check質問項目の
関連資料

※帳票のデザイン･仕様などは予告なく変更となる場合があります。

生活行動・学習活動調査

「基本的な学力」を支えるのは「基本的な学習習慣」であり、「基本的な学習習慣」を支えるのは「基本的な生活習慣」です。

生活行動・学習
Web評価支援シ
生活習慣・教科の学習活

東京書籍の質問紙調査は，学力を支える基本的な学習習慣や生活習慣が身についているかを自己確認することで“自らの目標を掲げて主体的に努力する”児童生徒の育成を目指しています。

調査時間：約30分
質　問　数：生活行動51問
　　　　　学習活動(各教科)16～18問
販売価格：１人あたり292円（税別）

表

標準学力調査対応
生活行動・学習活動調査
生活行動
東書小学校 5年1組1番
東書太郎
単位(%)

質問	回答	クラス	全国
朝は、じこくを決めて起きている	○	88.2	82.2
朝は、自分で起きている		58.8	59.1
夜は、じこくを決めてねている	○	61.8	57.5
すいみん不足にならないようにしている	○	76.5	72.6
朝食をきちんと食べている	○	94.1	95.3
朝食は、家の人といっしょに食べている	○	67.6	73.9
夕食をきちんと食べている	○	97.1	98.4
夕食は、家の人といっしょに食べている	○	91.2	94.8
学校のきまりを守っている		73.5	88.8
学校では、先生にあいさつをしている	○	91.2	90.2
学校で使う物は、自分で用意している		97.1	92.4
学校に出かける前に忘(わす)れ物がないか確(たし)かめている	○	73.5	72.2
家の人と決めた約束(やくそく)やきまりを守っている	○	73.5	84.8
学校でのできごとを、家の人に話している	○	61.8	83.0
家の人に、「行ってきます」「ただいま」などのあいさつをしている	○	97.1	95.0
出かけるときは、家の人に行き先を言っている	○	97.1	88.8
自分で時間を決めて、遊んでいる	○	88.2	80.6
自分で時間を決めて、テレビを見ている		29.4	44.5
体育の授業のほかにも運動をしている	○	70.6	80.7
家の手伝い(ゴミ出しなど)をしている	○	73.5	78.6
地いきの行事に参加している	○	61.8	69.9

単位(%)

質問	回答	クラス	全国
こまっている人の手助けをしている	○	61.8	66.5
本(マンガやざっしをふくまない)を読んでいる	○	55.9	69.5
新聞の記事を読んでいる		41.2	43.1
テレビのニュースを見ている	○	82.4	80.0
勉強に役立つテレビ番組(クイズ番組など)を見ている		79.4	82.4
家の人から言われなくても、進んで勉強している		67.6	72.0
家では、勉強する場所を決めている	○	79.4	78.1
筆記用具などを用意してから、勉強している		91.2	91.2
自分で勉強の計画を立てて、勉強している	○	52.9	64.2
勉強するときは、集中(しゅうちゅう)して勉強している	○	73.5	74.3
勉強に図書館を利用している		20.6	24.6
勉強に辞書(電子辞書をふくむ)を利用している		50.0	54.7

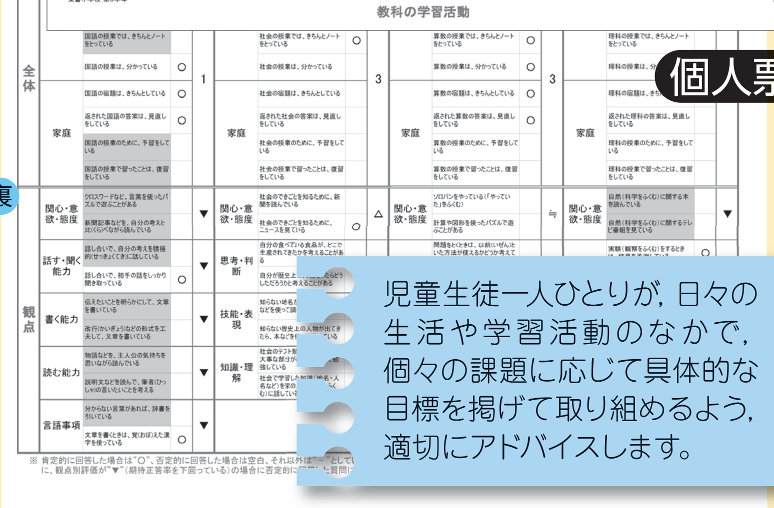
コメント
あなたの生活行動はたいへん良好です。とても頑張っていますね。無理をしないでできることを続けていくことが大切です。
「国語」の学習活動には課題があります。学習に対する取り組み方を見直しましょう。

※ 肯定的に回答した場合は”○”、否定的に回答した場合は空白、それ以外は”－”としています。クラスの数値は肯定的に回答した割合です。

東書小学校 第5学年

教科の学習活動

裏

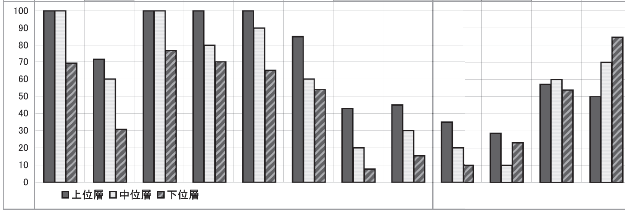


個人票

児童生徒一人ひとりが，日々の生活や学習活動のなかで，個々の課題に応じて具体的な目標を掲げて取り組めるよう，適切にアドバイスします。

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査
小学校５年
学習活動(算数)
学年・3階層回答傾向

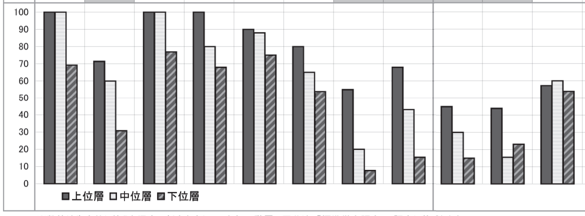
分類	全体											
	学校				家庭				関心・意欲・態度		考え方	
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
質問	算数の授業では先生の話をしっかり聞いている	算数の授業で分からないことがあれば先生に質問をしている	算数の授業ではきちんとノートをとっている	算数の授業はだいたい理解している	算数の宿題はきちんとしている	返された算数の答案は必ず見直しをしている	算数の授業のために予習をしている	算数の授業で習ったことは復習をしている	ソロバンをやっている（「やっていた」をふくむ）	計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある	問題を解くときは以前解いた方法が使えるかどうか考えている	文章問題は式や図に置きかえて考えている
上位層	100.0	71.4	100.0	100.0	100.0	85.0	42.9	45.0	35.0	28.6	57.1	50.0
中位層	100.0	60.0	100.0	80.0	90.0	60.0	20.0	30.0	20.0	10.0	60.0	70.0
下位層	69.2	30.8	76.9	70.0	65.0	53.8	7.7	15.4	10.0	23.1	53.8	84.6



※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査
小学校５年
学習活動(算数)
クラス・3階層回答傾向

分類	全体										
	学校				家庭				関心・意欲・態度		考え方
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
質問	算数の授業では先生の話をしっかり聞いている	算数の授業で分からないことがあれば先生に質問をしている	算数の授業ではきちんとノートをとっている	算数の授業はだいたい理解している	算数の宿題はきちんとしている	返された算数の答案は必ず見直しをしている	算数の授業のために予習をしている	算数の授業で習ったことは復習をしている	ソロバンをやっている（「やっていた」をふくむ）	計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある	問題を解くときは以前解いた方法が使えるかどうか考えている
上位層	100.0	71.4	100.0	100.0	90.0	80.0	55.0	68.0	45.0	44.0	57.1
中位層	100.0	60.0	100.0	80.0	88.0	65.0	20.0	43.0	30.0	15.5	60.0
下位層	69.2	30.8	76.9	68.0	75.0	53.8	7.7	15.4	15.0	23.1	53.8



※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の『クラス・3階層回答傾向』では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
※網のかけられた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

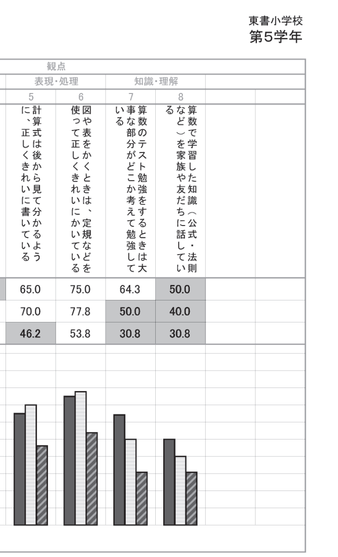
東書小学校

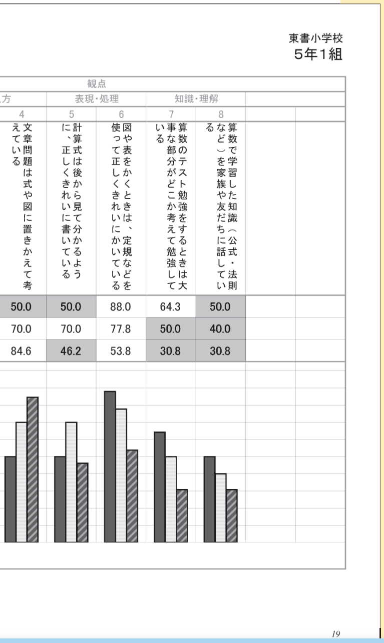
『標準学力調査』と併用することで，学力調査の結果に基づいた≪3層分析≫の資料をご提供することができます。

学力調査との併用が効果的!

活動調査
ステム対応
動について調査

学校用資料





各層の傾向と課題を把握できるだけでなく，児童生徒や保護者に対してもきめの細いより具体的な助言が可能になります。

＊自治体一括でのご採用の場合は，教育委員会用資料もご提供します。

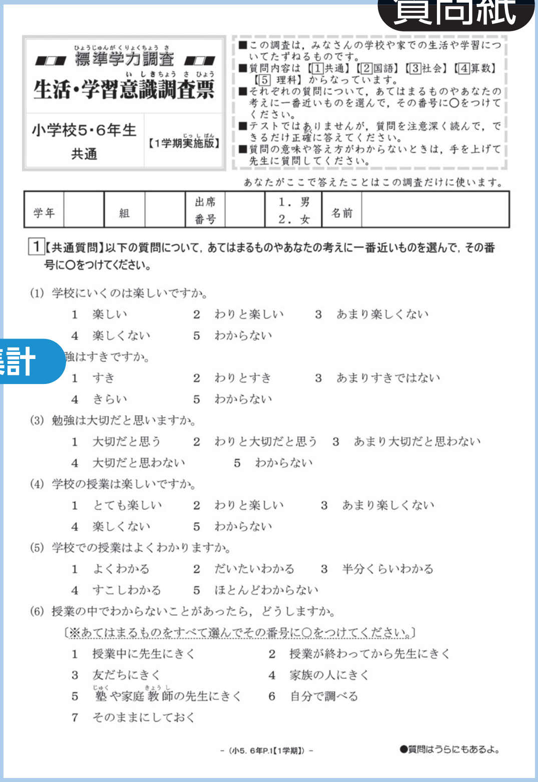
生活・学習意識調査【標準版】

「標準学力調査」の結果とクロス集計

地域や学校の傾向を，低予算のなかで，グラフ化してご提供します。「意識調査はしたいが１単位時間はかけられない」という場合などに有効です。（※個票はありません）

調査時間：約15分
質 問 数：24〜35問（2〜6年）
販売価格：1人あたり148円（税別）

質問紙



標準学力調査
生活・学習意識調査票
小学校5・6年生 共通 【1学期実施版】

■この調査は，みなさんの学校や家での生活や学習について たずねるものです。
■質問内容は【1共通】【2国語】【3社会】【4算数】【5理科】からなっています。
■それぞれの質問について，あてはまるものやあなたの考えに一番近いものを選んで，その番号に○をつけてください。
■テストではありませんが，質問を注意深く読んで，できるだけ正確に答えてください。
■質問の意味や答え方がわからないときは，手を上げて先生に質問してください。

あなたがここで答えたことはこの調査だけに使います。

学年		組		出席番号		1．男 2．女	名前	

1【共通質問】以下の質問について，あてはまるものやあなたの考えに一番近いものを選んで，その番号に○をつけてください。

(1) 学校にいくのは楽しいですか。
1 楽しい　2 わりと楽しい　3 あまり楽しくない　4 楽しくない　5 わからない

強はすきですか。
1 すき　2 わりとすき　3 あまりすきではない　4 きらい　5 わからない

(3) 勉強は大切だと思いますか。
1 大切だと思う　2 わりと大切だと思う　3 あまり大切だと思わない　4 大切だと思わない　5 わからない

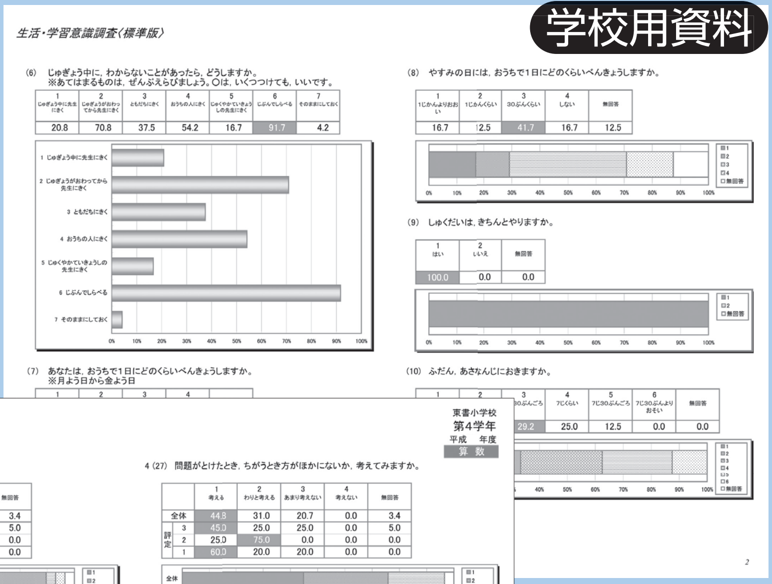
(4) 学校の授業は楽しいですか。
1 とても楽しい　2 わりと楽しい　3 あまり楽しくない　4 楽しくない　5 わからない

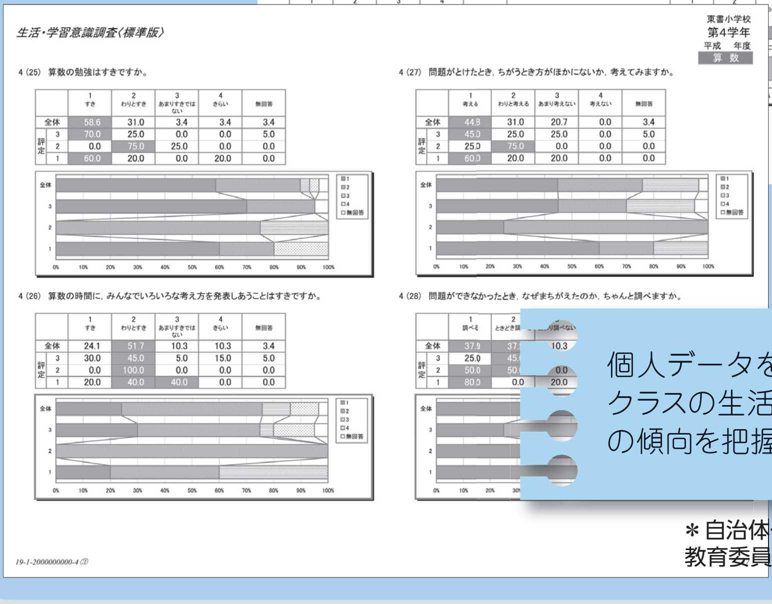
(5) 学校での授業はよくわかりますか。
1 よくわかる　2 だいたいわかる　3 半分くらいわかる　4 すこしわかる　5 ほとんどわからない

(6) 授業の中でわからないことがあったら，どうしますか。
〔※あてはまるものをすべて選んでその番号に○をつけてください。〕
1 授業中に先生にきく　2 授業が終わってから先生にきく　3 友だちにきく　4 家族の人にきく　5 塾や家庭教師の先生にきく　6 自分で調べる　7 そのままにしておく

－（小5．6年P.1【1学期】）－　●質問はうらにもあるよ。

学校用資料





個人データを集計し，学校やクラスの生活状況や学習状況の傾向を把握できる資料です。

＊自治体一括でのご採用の場合は，教育委員会用資料もご提供します。

※帳票のデザイン・仕様などは予告なく変更となる場合があります。

調査問題のラインナップと概要

■教科・学年ラインナップ

	学力調査										質問紙調査		
	1学期実施版					3学期実施版							
	部分改訂版・全面改訂版					部分改訂版・全面改訂版							
	国語	社会	算・数	理科	英語	国語	社会	算・数	理科	英語	アイチェック	生活行動・学習活動調査	生活・学習意識調査
小1						◎		◎			◎		
小2	◎		◎			◎		◎			◎		◎
小3	◎		◎			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小4	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小5	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎	◎※2	◎※2	◎※2	◎※2	◎※2	◎	◎	◎
販売価格	各学年１教科：３５５円（税別）										３８２円（税別）	292円（税別）	148円（税別）

※部分改訂版と全面改訂版の2種類を発行しております。
※2：3学期実施版の全面改訂版は、中3の発行はありません。

★小学校英語については、P22～23をご覧ください。

■出題範囲（部分改訂版・全面改訂版共通）

１学期版　前学年の学習内容（中1は小4～小6）
３学期版　当該学年11月までの学習内容

■調査実施期間（部分改訂版・全面改訂版共通）

１学期版　4月初旬～6月末まで
３学期版　12月初旬～3月10日まで

■オプション

個人経年比較……………………………………………………………………… １人あたり　48円（税別）

■全面改訂版の結果資料の発送は、1学期実施版が５月末以降順次、3学期実施版が1月中旬以降順次となります。

※この調査で取得した個人情報を含むパーソナルデータは、学習調査の研究・分析等において、匿名加工情報として活用させていただきます。

お願い　実施の直前に過去の問題及びフォローアップ問題で事前練習を行うと、児童・生徒の学力を正しく測定することが困難となります。
児童・生徒の学力を正しく測るため、「事前練習」はお控えください。
また、弊社学力調査の問題をコピーして児童・生徒に実施させるなど、調査問題を2次利用することは著作権の侵害に当たります。

調査問題の利用にあたって

- 全面改訂版は、問題冊子を回収しません。調査の公平性を保つため、1学期版の問題冊子は6月末、3学期版の問題冊子は3月10日まで児童・生徒に返却せず、校内での使用・保管をお願いいたします。
- 小学校1～2年生の採点済みの問題冊子は返却いたしません。

ご注文に際してのお願い

- 調査実施日の2週間前までにお申し込みください。
- 調査問題・部材の納品には、ご注文をいただいてから通常5営業日ほどお時間をいただきます。
- 年度始めに実施される自治体単位でのご注文は、納品まで2週間ほどお時間をいただきますので、早めのご注文をお願いします。
- 各種個人別帳票には、児童生徒のプライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
- 学校のご都合で，パーソナルデータ又は学校用データを再発行する場合は，別途有料となりますのでご留意ください。

※詳細につきましては、ご注文の際、担当者にご相談ください。

■Web評価支援システムは、上記商品のご採用学校・教育委員会へのオプショナルサービスです。（詳細は専用パンフレットをご覧ください）

システム利用料金	
閲覧項目	価格
基本使用料	無料
個別復習教材（フォローアップ）※学力調査のみ提供	無料
分析レポート（考察資料）※学力調査、アイチェック	1学年1教科あたり 5,000円（税別）

※Web評価システムは、調査の申込時に併せてお申し込みください。
※登録のための学校IDと仮パスワードは、結果資料と一緒にお届けいたします。

東京書籍

●お申し込み・内容についてのお問い合わせ
東京書籍株式会社　教育事業本部
【東日本】〒114-8524　東京都北区堀船2-17-1　Tel.03-5390-7451　Fax03-5390-7582
【西日本】〒532-0004　大阪市淀川区西宮原1-4-10 大阪東書ビル　Tel.06-6397-1354　Fax06-6397-1357
ホームページ　http://www.tokyo-shoseki.co.jp　　東書Eネット　http://ten.tokyo-shoseki.co.jp

たいせつにしますプライバシー 10190966

エデュフロント

●出荷・納品についてのお問い合わせ
（株）学習調査エデュフロント 「標準学力調査」係
Tel.03-5390-7572

たいせつにしますプライバシー 10861827

●代理店

■企画　東京書籍株式会社／（株）学習調査エデュフロント　■制作・発行　東京書籍株式会社　■コンピュータ処理・運用　（株）学習調査エデュフロント

※解答（回答）用紙に記入された個人情報は、本調査の目的以外には使用しません。

2019　09